

**問** 「私は平和問題については、町政の最重要課題として位置づけ、あの忌まわしい沖縄戦の悲劇を忘れることなく、『命どろ宝』を後世に語り継ぎ、平和な社会建設に努めていくことが何より優先されるべきものと考えています」と施政方針で述べている。

そのよりどころとなるのが日本国憲法ではないでしょうか。

安倍首相は2月28日の施政方針で「憲法審査会の議論を促進し、憲法改正に向けた国民的議論を深めよう」と改憲を公言している。改憲のねらいの中心は戦争や武力行使をしないことを

**問** 首相自ら憲法を変えようという。戦後最大の憲法危機だ。西原は沖縄戦で当時の人口の約半数、5106人が犠牲になった。4軒に1軒が一家全滅。この地球上から抹殺され子孫もない。再び私たちの子や孫が戦場に送られないように、平和憲法を守るための憲法学習会は必要だ。

**町長** 憲法が危うい時期に



チブガーラ (壺川)

◇世界の宝憲法を学ぶ  
学習会の開催を  
◇琉大構内のチブ川の  
保全



伊礼一美 議員

定めた憲法第9条。安倍首相をはじめとする改憲勢力は当面、解釈改憲で「集団的自衛権行使」に踏み込み、その後、憲法96条を変えて改憲の発議要件を緩和し、憲法9条改憲に向かうスケジュールを描いている。国民の生存権と文化的生活の明記をはじめ、日本国憲法が定める平和・人権・民主主義の原則は、今も世界でもっとも先進的なもの。私たちは憲法を守り生かしてこそ、町民が願う平和な町ができるものと確信する。

世界の宝である憲法を学ぶ学習会を、平和事業の一環として開く考えは。

**総務部長** 平和事業推進委員会の意見を聞き検討する。

**問** 琉大構内のチブ川保全を考えるべきだ。そこを手がかりに西原の自然調査をし、動物、植物、昆虫とか、自然散策に活用できるような自然ガイドブックを発刊する考えは。

**生涯学習課長** 関係課とも調整して検討をすすめます。

さしかかってきたと認識している。憲法9条、あるいは憲法前文を学ぶことは大事。憲法講演会を前向きに考えたい。

◇一括交付金の拡大  
◇公共下水道事業



前里光信 議員

**問** 平成24年度は一括交付金を活用し、大変重要な事業が成功し大変良かったと思います。裏負担の件もあるが、その使途拡大が必要と考えます。町長は県や他の市町村長と国と強力に交渉し使い勝手の良いものにすべきと思います。又去る大戦で沖繩が受けたダメージはあまりに大きくその為、各市町村の国保事業や学力向上の予算にも活用出来るよう交渉すべきと思いますが、その点どうか。

**町長** 平成24年度は長年の課題でありました防災行政無線の整備をはじめ、中央公民館の改修工事、町陸上競技場の機能強化整備等こ

**問** 公共下水道事業について現在の接続率は何%ですか。

**建設部長** 現在45%です。役場職員の接続率は今のところ何パーセントですか。

**建設部長** 約三四%です。町内には技術的に接続出来ない地域はどの程度ありますか。



下水道工事のようす (イメージ)

**問** 公共下水道事業について現在の接続率は何%ですか。

**建設部長** 現在45%です。役場職員の接続率は今のところ何パーセントですか。

**建設部長** 約三四%です。町内には技術的に接続出来ない地域はどの程度ありますか。

**問** 自然流下方式が一般的ですが、それが出来ない地域はポンプ設備を設置するので費用対効果の問題もあります。技術的には接続できない地域はないと言っていることになりませんか。

**建設部長** 公共下水道区域から百メートル離れており、ポンプ設備が必要になる為経済的な面から公共下水道の整備は適当でない地域となっている。

**副町長** この小波津集落の四〜五軒については地域の状況から踏まえて我々も早目に検討をして行きたいと考えております。

**問** 小波津集落の中央公民館に近い住宅4〜5軒の工事が出来ないのは何故か。又今後はどう対応するか。

**建設部長** 公共下水道区域から百メートル離れており、ポンプ設備が必要になる為経済的な面から公共下水道の整備は適当でない地域となっている。

**問** 都市モノレール浦西駅周辺・徳佐田・幸地の約40ヘクタールの都市計画に伴う202名の地権者の意向調査、今後のまちづくり計画とスケジュールは。

**建設部長** 今回の意向調査の結果から徳佐田・幸地地域は、モノレール延伸計画に伴い何らかの整備が必要と考えている地権者が約9割いることや現在の農地利用状況から将来宅地化への意向が、宅地35%から46%、農地は35%から4%とあることから、今後浦西駅からインターチェンジまでのアクセス道路及びインターチェンジ計画の事業者である沖繩県と協議しながら当

◇モノレール浦西駅  
周辺のまちづくり  
◇県道拡幅に伴う  
町当局の対応



伊波時男 議員

**問** 都市モノレール浦西駅周辺・徳佐田・幸地の約40ヘクタールの都市計画に伴う202名の地権者の意向調査、今後のまちづくり計画とスケジュールは。

**建設部長** 今回の意向調査の結果から徳佐田・幸地地域は、モノレール延伸計画に伴い何らかの整備が必要と考えている地権者が約9割いることや現在の農地利用状況から将来宅地化への意向が、宅地35%から46%、農地は35%から4%とあることから、今後浦西駅からインターチェンジまでのアクセス道路及びインターチェンジ計画の事業者である沖繩県と協議しながら当

**問** 県道29号線拡幅工事に伴う(株)オキコ前現在の出入口と計画案との高低差、(株)オキコから計画見直しに対する県側への要請の内容、同県道榎原から上原向け延長737番地付近の道路との高低差と進入路の計画は。

**土木課長** 県道那覇・北中城線の計画におけるオキコの出入口の高低差は2、2メートルである。

**建設部長** 同社敷地は副道を通行しての出入となり事業運用に支障が出る為現状どおりの道路高さへの計画見直しと、沖繩自動車道インターチェンジまたモノレール駅周辺のまちづくり構想等も踏まえて、再考してほしい事であり、同社は県側への要請に対して、西原町も支援をしてほしいと



(株)オキコ前の道路

**問** 県道29号線拡幅工事に伴う(株)オキコ前現在の出入口と計画案との高低差、(株)オキコから計画見直しに対する県側への要請の内容、同県道榎原から上原向け延長737番地付近の道路との高低差と進入路の計画は。

**土木課長** 県道那覇・北中城線の計画におけるオキコの出入口の高低差は2、2メートルである。

**建設部長** 同社敷地は副道を通行しての出入となり事業運用に支障が出る為現状どおりの道路高さへの計画見直しと、沖繩自動車道インターチェンジまたモノレール駅周辺のまちづくり構想等も踏まえて、再考してほしい事であり、同社は県側への要請に対して、西原町も支援をしてほしいと

**副町長** 県の事業についても我々町の事業という一体で今後取り組まなければならぬと考えており、確かに4〜5メートルの段差がついている状況に今後は、このような事例が起こらないよう町も万全を期したい。

**問** モノレール延伸に伴う幸地地域へのフルインターチェンジは決定か。

**都市整備課長** 決定で、県はモノレール延伸を平成31年4月に供用開始の計画である。

**問** 県道29号線拡幅工事に伴う(株)オキコ前現在の出入口と計画案との高低差、(株)オキコから計画見直しに対する県側への要請の内容、同県道榎原から上原向け延長737番地付近の道路との高低差と進入路の計画は。

**土木課長** 県道那覇・北中城線の計画におけるオキコの出入口の高低差は2、2メートルである。

**建設部長** 同社敷地は副道を通行しての出入となり事業運用に支障が出る為現状どおりの道路高さへの計画見直しと、沖繩自動車道インターチェンジまたモノレール駅周辺のまちづくり構想等も踏まえて、再考してほしい事であり、同社は県側への要請に対して、西原町も支援をしてほしいと

**問** 県道29号線拡幅工事に伴う(株)オキコ前現在の出入口と計画案との高低差、(株)オキコから計画見直しに対する県側への要請の内容、同県道榎原から上原向け延長737番地付近の道路との高低差と進入路の計画は。

**土木課長** 県道那覇・北中城線の計画におけるオキコの出入口の高低差は2、2メートルである。

**建設部長** 同社敷地は副道を通行しての出入となり事業運用に支障が出る為現状どおりの道路高さへの計画見直しと、沖繩自動車道インターチェンジまたモノレール駅周辺のまちづくり構想等も踏まえて、再考してほしい事であり、同社は県側への要請に対して、西原町も支援をしてほしいと

# 6月 定例会のご案内

## 【6月定例会会期日程予定】

※開会時間は午前10時です。

日	曜日	日程
6月13日	木	本会議 1 (一般質問①)
6月14日	金	本会議 2 (一般質問②)
6月15日	土	休会
6月16日	日	休会
6月17日	月	本会議 3 (一般質問③)
6月18日	火	本会議 4 (一般質問④)
6月19日	水	委員会
6月20日	木	本会議 5

## お知らせ

議会の審議内容や町の施策など、皆さんの目を見て、耳で確かめてみませんか。

定例会は年4回、3月、6月、9月、12月に開かれます。

※臨時会・各種委員会は、随時開催されています。

【問い合わせ先】  
西原町議会事務局  
電話 098-945-5122